

となりのせきのおともだち

小 二

わたしは、となりのせきのAくんには、いやなことをされたことが何どもあります。言い合いになって、ほっぺたをパンツとはたかされたこともあります。Aくんがわたしの言っていないことを、

「Bちゃんが言った。」

と言ったとき、まわりにいた友だちが、「Bちゃんは、そんなこと言う子じゃないよ。」

と言ってくれました。みんながそんな風に思っていてくれてうれしかったです。家に帰ったら、先生から電話があり

ました。先生から、友だちに顔をたたかれたと聞いたお母さんは、びっくりしていました。お母さんは、その時、「Bは、Aくんと楽しいできごとをいつもにこにこえ顔で話してくれるので、Aくんのは、好きだと思いますよ。」

と、先生に話していました。

つぎの日、先生は、クラスのみんなの前で、

「Bちゃんは、いやなことがあっても、友だちのわるいところではなくて、いいところを大切に思ってくれているだね。そういうところが、いいなあ。」

と言ってくれました。わたしは、先生にほめられて、とてもうれしかったです。家に帰ってから、そのことをお母

さんに話したら、

「きらいって思うと、その子もBのこ
とをきらいって思うんだよ。でもね、
その子のいいところを一つ一つさが
して、その子をすきって思うと、そ
の子もBのことをすきって思ってく
れるんだよ。だから、Bも、Aくん
のいいところをたくさん見つけられ
るといいね。」

と言われました。

わたしは、Aくんのいいところをいっ
ぱい知っています。おもしろいところ
や、むずかしいかん字をたくさん読め
るところ、やさしいところもたくさん
あります。

今はまだ、けんかをしてしまうこと
が多いけれど、Aくんのいいところを

見つけて、もつともつとなかのいい友
だちになれたらいいなと思います。